

「信仰の報い」

ミデアンの平安な生活から召し出されたモーセですが、後の40年は苦難の連続、モーセにとって気を休めることのない年月でした。神様に背いた民が、神の怒りによって倒れ滅びていくのを悲痛な思いで見る外ありませんでした。しかし火のヘビの事件から、信仰をもって立つ民が残され、その民が入る約束の地を、ピスガの頂から見るとき、モーセの喜びはどれほど大きかったか分かりません。人として、彼の報いは多くなかったかもしれません。

しかし、救い主を見ないで天に帰った聖徒たちの中で、彼はエリヤと共に主イエスにお目に掛かる栄光に与りました。天における報いは他の誰よりも大きかったのです。

今日の聖書の学びの要点

- ・どこまでも信仰により立ち上がるなら、神様は大きな祝福を与えてくださる。

I、青銅のヘビ

1、荒野の40年の旅が終わりに近づき、カナンの地が目前にあるにもかかわらず、神様はイスラエルの民を逆方向に向かわせました。

①民はどうしたのでしょうか？

民数記21：5――

②神様はどのようにされたのでしょうか？

民数記21：6――

2、執りなすモーセに、神様は何をどのようにせよと言われましたか。

(民数記21：8)

①青銅のヘビ：真っ赤で火のヘビと同じに見える・・・アダムを騙した、ヘビは呪われている

②旗竿に架ける：木に架けられるものは呪われる（申命記21:23）

③呪われたものが、更に呪われている：汚れたものを誰も見たくない

3、モーセが旗竿の上につけた青銅のヘビを見た人は、どのようになっただでしょうか。（民数記21：9）

Ⅱ、十字架で、青銅のヘビとなられたキリスト

1、本当の救いは、人が努力して得られるものではありません。
神様は誰を遣わされたのでしょうか。（ヨハネ3：13）

2、聖書はイエス・キリストについて書かれた書でもあります。
荒野のヘビの事件と、人の子主イエス・キリストに対する事柄は何を意味しているのでしょうか。

①荒野のヘビ（呪われたものの象徴のヘビが、更に木に架けられて呪われている）…

②人の子が上げられる(ヨハネ3：14)…

③信じる者と永遠のいのちの関係(ヨハネ3：15、16)…